

国語国文学科専門科目（平成27年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職必修	摘要	開放	
基幹科目	10010		国文学概論	②	30	1・2	前期	北野 達		古典 近現代	教養 教養 教養 教養	
	10020		国語学概論	②	30	1・2	前期	高橋 永行				
	10040		国文学史一	2	30	1・2	後期	佐々木紀一				
	10050		国文学史二	2	30	1・2	後期	馬場 重行				
基礎科目	共通		国文学基礎演習一	4	60	1	通年	北野 達	④	開講せず		
			国文学基礎演習二	4	60	1	通年					
			国文学基礎演習三	4	60	1	通年	佐々木紀一				
			国文学基礎演習四（金曜I限）	4	60	1	通年	千葉 正昭				
			国文学基礎演習四（火曜IV限）	4	60	1・2	通年	千葉 正昭				
			国文学基礎演習五	4	60	1	通年	馬場 重行				
			国語学基礎演習一	4	60	1	通年	山本 淳				
			国語学基礎演習二	4	60	1	通年	高橋 永行				
		10190	10191	国語表現法（金曜II限）	4	60	1・2	通年	高橋 永行	④		
		10190	10192	〃（月曜IV限）	4	60	1・2	通年	山本 淳			
	国文学	10210		国文学講読一	2	30	1・2	前期	北野 達	④	古典 古典 古典 近現代 本年度開講せず 古典 古典 古典 近現代 近現代	
		10220		国文学講読二	2	30	1・2	前期	齋藤 奈美			
		10230		国文学講読三	2	30	1・2	前期	佐々木紀一			
		10240		国文学講読四	2	30	1・2	前期	千葉 正昭			
		10250		国文学講読五	2	30	1・2	前期	馬場 重行			
		10260		国文学講読六	2	30	1・2	後期	北野 達			
		10270		国文学講読七	2	30	1・2	後期	齋藤 奈美			
		10280		国文学講読八	2	30	1・2	後期	佐々木紀一			
		10290		国文学講読九	2	30	1・2	後期	千葉 正昭			
		10300		国文学講読十	2	30	1・2	後期	千葉 正昭			
国語学	10410		国文学特講一	2	30	1・2	後期	北野 達	②	「漢文学概説」で読み替え 「漢文学特講」で読み替え		
	10420		国文学特講二	2	30	1・2	前期	齋藤 奈美				
	10430		国文学特講三	2	30	1・2	前期	佐々木紀一				
	10440		国文学特講四	2	30	1・2	後期	梅津 保一				
	10450		国文学特講五	2	30	1・2	前期	馬場 重行				
	10460		国文学特講六	2	30	1・2	後期	千葉 正昭				
漢文学	10510		国語学講読一	2	30	1・2	前期	山本 淳	④	9月開講		
	10520		国語学講読二	2	30	1・2	前期	高橋 永行				
	10530		国語学講読三	2	30	1・2	後期	山本 淳				
	10540		国語学講読四	2	30	1・2	後期	高橋 永行				
	10550		国語学特講	2	30	1・2	前期	山本 淳				
10560		日本語文書・表現プログラム	2	30	1・2	集中	田中 宣廣					
展開科目	10610		漢文学講読一	2	30	1・2	前期	渡部東一郎	②	「漢文学概説」で読み替え 「漢文学特講」で読み替え		
	10620		漢文学講読二	2	30	1・2	後期	渡部東一郎				
			漢文学特講一	2	30	1・2	前期	渡部東一郎				
			漢文学特講二	2	30	1・2	後期	渡部東一郎				
共通	10710		国文学演習一	4	60	2	通年	北野 達	④	(応用) 本年度開講せず (応用) (応用) (応用) (応用) (応用) (応用)		
	10730		国文学演習二	4	60	2	通年					
	10740		国文学演習三	4	60	2	通年	佐々木紀一				
	10741		国文学演習四	4	60	2	通年	千葉 正昭				
	10745		国文学演習五	4	60	2	通年	馬場 重行				
	10750		国語学演習一	4	60	2	通年	山本 淳				
	10760		国語学演習二	4	60	2	通年	高橋 永行				
	10780		文献学演習	4	60	2	通年	新藤 透				
10790		教育文化論演習	4	60	2	通年	村瀬 桃子					
関連科目	10810		書道一	4	60	1・2	通年	我彦 芳柳	④	9月開講 日本史と合同 [司]「文献情報学」で相互単入読修 [日]は専門単位[英・社]は教養単位	教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養	
	10820		書道二	4	60	1・2	通年	我彦 芳柳				
	10910		伝統文化論	2	30	1・2	後期	齋藤 奈美				
	10920		有職故実	2	30	1・2	集中	鈴木 眞弓				
	10930		民俗学概説	2	30	1・2	前期	岩鼻 通明				
	10940		書誌学	2	30	1・2	前期	新藤 透				
	10950		山形の文学	2	30	1・2	後期	梅津 保一				
	10960		東洋思想	2	30	1・2	前期	小野 卓也				
10970		現代社会と教育問題	2	30	1・2	後期	村瀬 桃子					
	11010		卒業研究	4		2						

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

国語国文学科専門科目（平成28年度入学生用）

	科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職必修	摘要	開放	
基幹科目	10010		国文学概論	②	30	1・2	前期	北野 達	④	古典 近現代	教養 教養 教養 教養	
	10020		国語学概論	②	30	1・2	前期	高橋 永行				
	10040		国文学史一	2	30	1・2	後期	佐々木紀一				
	10050		国文学史二	2	30	1・2	後期	馬場 重行				
基礎科目	共通	10141 10142	10110	国文学基礎演習一	4	60	1	通年	北野 達	④	本年度開講せず	
			10120	国文学基礎演習二	4	60	1	通年				
			10130	国文学基礎演習三	4	60	1	通年	佐々木紀一			
			10140	国文学基礎演習四	4	60	1	通年	千葉 正昭			
			10140	〃	4	60	1	通年	千葉 正昭			
			10150	国文学基礎演習五	4	60	1	通年	馬場 重行			
			10160	国語学基礎演習一	4	60	1	通年	山本 淳			
			10170	国語学基礎演習二	4	60	1	通年	高橋 永行			
	10190	10191	国語表現法（金曜Ⅱ限）	4	60	1・2	通年	高橋 永行	④			
	10190	10192	〃（月曜Ⅳ限）					山本 淳				
	国文学	10210		国文学講読一	2	30	1・2	前期	北野 達	④	古典 古典 古典 近現代 本年度開講せず 古典 古典 古典 近現代 近現代	
		10220		国文学講読二	2	30	1・2	前期	齋藤 奈美			
		10230		国文学講読三	2	30	1・2	前期	佐々木紀一			
		10240		国文学講読四	2	30	1・2	前期	千葉 正昭			
		10250		国文学講読五	2	30	1・2	前期				
		10260		国文学講読六	2	30	1・2	後期	北野 達			
		10270		国文学講読七	2	30	1・2	後期	齋藤 奈美			
		10280		国文学講読八	2	30	1・2	後期	佐々木紀一			
		10290		国文学講読九	2	30	1・2	後期	千葉 正昭			
10300			国文学講読十	2	30	1・2	後期	千葉 正昭				
10410			国文学特講一	2	30	1・2	後期	北野 達	②			
10420		国文学特講二	2	30	1・2	前期	齋藤 奈美					
10430		国文学特講三	2	30	1・2	前期	佐々木紀一					
10440		国文学特講四	2	30	1・2	後期	梅津 保一					
10450		国文学特講五	2	30	1・2	前期	馬場 重行					
10460		国文学特講六	2	30	1・2	後期	千葉 正昭					
国語学	10510		国語学講読一	2	30	1・2	前期	山本 淳	④			
	10520		国語学講読二	2	30	1・2	前期	高橋 永行				
	10530		国語学講読三	2	30	1・2	後期	山本 淳				
	10540		国語学講読四	2	30	1・2	後期	高橋 永行				
	10550		国語学特講	2	30	1・2	前期	山本 淳				
	10560		日本語文書・表現プログラム	2	30	1・2	集中	田中 宣廣				
漢文学	10600		漢文学概説	2	30	1・2	前期	渡部東一郎	○			
	10610		漢文学講読一	2	30	1・2	前期	渡部東一郎				
	10620		漢文学講読二	2	30	1・2	後期	渡部東一郎				
	10650		漢文学特講	2	30	1・2	後期	渡部東一郎				
展開科目	共通		国文学演習一	4	60	2	通年	北野 達	④	(応用) 開講せず (応用) (応用) (応用) (応用) (応用) (応用) (応用)		
			国文学演習二	4	60	2	通年					
			国文学演習三	4	60	2	通年	佐々木紀一				
			国文学演習四	4	60	2	通年	千葉 正昭				
			国文学演習五	4	60	2	通年	馬場 重行				
			国語学演習一	4	60	2	通年	山本 淳				
			国語学演習二	4	60	2	通年	高橋 永行				
			文献学演習	4	60	2	通年	新藤 透				
			教育文化論演習	4	60	2	通年	村瀬 桃子				
関連科目	共通		10810	書道一	4	60	1・2	通年	我彦 芳柳	④	9月開講 日本史と合同 <small>[司]「文献情報学」で相互単入読修 [日]は専門単位[英・社]は教養単位</small>	教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養
			10820	書道二	4	60	1・2	通年	我彦 芳柳			
			10910	伝統文化論	2	30	1・2	後期	齋藤 奈美			
			10920	有職故実	2	30	1・2	集中	鈴木 眞弓			
			10930	民俗学概説	2	30	1・2	前期	岩鼻 通明			
			10940	書誌学	2	30	1・2	前期	新藤 透			
			10950	山形の文学	2	30	1・2	後期	梅津 保一			
			10960	東洋思想	2	30	1・2	前期	小野 卓也			
10970	現代社会と教育問題	2	30	1・2	後期	村瀬 桃子						
			卒業研究	4		2						

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10010		国文学概論	2	北野 達	前期	教養

【達成目標】

概論というのは、その学問がどのようなものであるかの全体像をつかむという目的で行われるものです。この科目は、当然、国文学とはなにかということを考える科目ということになります。

【授業内容・方法】

国文学などといわずに文学とは何かを考えるという立場もあり得ますが、さしあたって私は国文学を専攻していますので、国文学とは何かについて講義していきたいと思えます。

【授業計画】

- 1 文学とは言語(言葉)による芸術である。
- 2～10 文学にとって言葉とは何か。
(①詩の言葉と音声 ②言語と言霊 ③記号としての言語 ④文学を支える言語)
- 11 文学は何故人を感動させることができるか。
- 12～14 国文学のテーマ
- 15 まとめ

【テキスト】

特になし

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

本講義は、あくまでも国文学の概論です。理論的な問題を扱います。したがって、やや理解しづらい点もあろうかと思いますが、できる限りかみ砕いて話すつもりです。なお、できることなら、英米文学概論などを履修し、国文学というものを相対化されることをおすすめします。

【評価方法】

試験 (90%)、授業への参加度 (10%)

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10020		国語学概論	2	高橋 永行	前期	教養

【達成目標】

国語学は、日本語ということばそのものを研究対象とする学問分野です。この授業はその入門的性格をもつもので、現代日本語の構造や体系についての概要を学びます。

【授業内容・方法】

今年は、日本語という言語の個性、文字表記、語彙、方言、系統を取り上げて講義します。

【授業計画】

- 1 言語研究とその分野 (導入 言語とは何か)
- 2～3 現代生活と日本語 (ことばの位相、役割語、方言)
- 4～7 文字・表記 (文字の機能と分類・漢字・仮名・ローマ字・現代の表記法)
- 8～11 語彙 (体系・出自・量・意味・歴史)
- 12～14 日本語の位置 (世界との比較 言語の系統と分類)
- 15 まとめ、試験

【テキスト】

『図解日本語』三省堂 2,000円＋税

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

まずは「ことばに対する素朴な疑問」を持つことから始めましょう。

ことばに関する新聞報道なども取り上げる場合があります。できるだけ旬の話題を提供するようにします。

【評価方法】

試験 90%、授業への参加度 10%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10110		国文学基礎演習一	4	北野 達	通年	
<p>【達成目標】 国文学・国語学・漢文学の基礎的知見を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 国文学・漢文学の文章および国文法に触れ、古典を「読む」訓練を積む。</p> <p>【授業計画】 1～10 『徒然草』を教材にして、古典を読む基礎力をつける。 11～20 やや高度な教材を用いて、読む力を養う。 21～30 漢詩・漢文の重要な文を読む。</p> <p>【テキスト】 とくに指定しませんが、『古語辞典』もしくは文法のサブテキスト(何でも良い)をご用意ください。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 古典を読むことができるようになることを最大の目的にします。漢文・古典文法については、基礎的なものだけに留めます。専門的なものは、関連講義を受講してください。古典読解の総合力をつけます。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(100%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10130		国文学基礎演習三	4	佐々木 紀一	通年	
<p>【達成目標】 古典文法の復習もかね、古典学習の方法を学び、古典の読解を発展させます。</p> <p>【授業内容・方法】 平安時代後期の歌人藤原公重の歌集『風情集』末尾の百首は、あたかも自虐・ウツの感情に満ち満ちた大変ユニークな和歌です。勿論、平安和歌ですから、平安時代を基とする「古典文法」に基づいてをります。授業では、この作品に限らず、古典作品を読む為の参考図書、辞書等の利用方を学び、各自、宛てられた和歌を読み解き、その意味、技法を発表します。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2 藤原公重とは 3～5 辞書、図書館の利用方法 7～15 発表</p> <p>【テキスト】 コピーを配ります。高校で利用した古典文法、古語辞書必携</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 吾と云へば人の言葉はあらし山かくては何と生まれこしぢぞ 「私が…」といふと他人の言葉は荒いのです(荒らしと愛発山が懸詞)。この様な状況では、どうして私は生まれてきたのだらう(と歎かれます)(来しと越路が懸詞) なんて素敵な歌が続出です。 古典文法を復習しながら、現代の感性にピッタリの和歌世界に浸れます。</p> <p>【評価方法】 演習への参加度・発表(100%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10140	10141	国文学基礎演習四(金I)	4	千葉 正昭	通年	

【達成目標】
 明治から大正までの作家・作品を検討していく。興味を抱いて調べる、しっかり読む、じっくり考える、自分の意見を組み立てること等、基本的な読解方法について学ぶ。この過程で作家調査や作品解読の面白さを体験する。

【授業内容・方法】
 明治・大正という時代が、如何様な作家作品を生み出していったのかを、時系列的に考えていく。発表者や質問者をあらかじめ確認する。さらに参加者みんなで、質疑討論を重ねていく。

【授業計画】
 1 近代文学の概説 (1) 9 坂東監督「外科室」 16 森鷗外「カズイヌチカ」 24 芥川龍之介「藪の中」
 2 同上 (2)・授業説明 10 島崎藤村「藁草履」 17 谷崎潤一郎「刺青」 25 葛西善蔵「哀しき父」
 3 坪内逍遙「小説神髓」 11 夏目漱石「倫敦塔」 18 久保田万太郎「朝顔」 26 宇野浩二「蔵の中」
 4 二葉亭四迷「あひびき」 12 国木田独歩「窮死」 19 武者小路実篤「お目出度き人」 27 宮嶋資夫「坑夫」
 5 尾崎紅葉「拈華微笑」 13 田山花袋「一兵卒」 20 志賀直哉「クロードアスの日記」 28 佐藤春夫「窓展く」
 6 幸田露伴「一口剣」 14 永井荷風「曇天」 21 有島武郎「かんかん虫」 29 井伏鱒二「幽閉」
 7 樋口一葉「大つごもり」 15 耽美派の登場+ 22 菊池寛「身投げ救助業」 30 横光利一「蠅」+
 8 泉鏡花「外科室」 前期レポート提出 23 高橋伴明監督「丘を越えて」 後期レポート提出

【テキスト】
 平林文雄他編『短編名作編 1885 - 1924 小説の曙』(笠間書院) 1400 円+税/その他印刷物

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】
 近代文学の面白さを、調査や読解から体験できることを願っている。作品を読むことに興味を抱いて取り組んでもらえれば、そこから楽しさが芽生えると考えている。

【評価方法】
 発表・授業中の発言・レポート・出席状況など総合点で評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10140	10142	国文学基礎演習四(火IV)	4	千葉 正昭	通年	

【達成目標】
 明治から昭和 10 年代までの作家・作品を考察していく。しっかり読む、じっくり考える、自己の意見を組み立てるなど、基本的な読解方法について学ぶ。作家調査や作品構造の面白さを体験する。

【授業内容・方法】
 上記の時代が、その空気の醸成とともにそれぞれの作家精神を刺激し、その痕跡をさぐることは興味深い問題である。

【授業計画】
 1 日本近代文学史 (1) 9 夏目漱石「吾輩は猫である」 16 葛西善蔵「子をつれて」 24 林芙美子の作品
 2 日本近代文学史 (2) 10 森鷗外「佐橋甚五郎」 17 久保田万太郎「朝顔」 25 梶井基次郎「闇の絵巻」
 3 幸田露伴「対髑髏」 11 武者小路実篤「幸福者」 18 谷崎潤一郎「羹」 26 井伏鱒二「丹下氏邸」
 4 尾崎紅葉「拈華微笑」 12 志賀直哉「剃刀」 19 菊池寛「恩讐の彼方へ」 27 室生犀星「あにいもうと」
 5 樋口一葉「わかれ道」 13 有島武郎「実験室」 20 葉山嘉樹「淫売婦」 28 太宰治「ロマネスク」
 6 泉鏡花「処方秘箋」 14 芥川龍之介「きりしとほろ上人伝」 21 横光利一「春は馬車に乗って」 29 岡本かの子「家霊」
 7 国木田独歩「窮死」 15 内田百閒「件」 22 中野重治「春さきの風」 30 総括+レポート提出
 8 永井荷風「深川の唄」 +レポート提出 23 龍胆寺雄の作品

【テキスト】
 阿毛久芳ほか編「言葉の織物」(蒼丘書林) 1845 円+税・その他の印刷物

【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】
 各自が予習を心掛けて参加すると面白い授業になることと思う。是非積極的参加を希望する。作品は、それぞれが独自の魅力を持って皆さんを待っていることでしょう。

【評価方法】
 出席率・授業中の発言・発表・レポートの総合評価。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10150		国文学基礎演習五	4	馬場 重行	通年	
<p>【達成目標】 ①国語国文学の基礎となる作品の「読み」について、演習形式で学習します。 ②各自が報告者となり、毎回、作品について討議を交わす形で授業が展開されます。自分が発言し、他の人の意見を聞くという機会を通して、「読み」の意味を確認していくことがねらいです。</p> <p>【授業内容・方法】 国語国文学の基礎となる作品の「読み」について、演習形式で学習します。各自が報告者となり、毎回、作品について討議を交わす形で授業が展開されます。自分が発言し、他の人の意見を聞くという機会を通して、「読み」の意味を確認していくことがねらいです。</p> <p>【授業計画】 1 全体の進行や年間計画等の説明 (1回) 2 各自の報告をもととした質疑応答 (1～28回) 3 まとめ (1回)</p> <p>【テキスト】 芥川龍之介『羅生門・鼻・芋粥』(角川文庫)、『地獄変・偷盗』(新潮文庫)</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 毎回の発言を最も重視し、評価もそこを基点に行います。さらに、報告資料やレポート等を加味して総合評価を行います。必ず1回以上は発言を求めますので、積極的に参加して下さい。授業評価で指摘のあった、席替えや進行形式については、みんなで相談してより望ましい形にそのつど改めていく予定です。</p> <p>【評価方法】 授業への積極的参加度 (60%)、期末レポート課題 (40%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10160		国語学基礎演習一	4	山本 淳	通年	
<p>【達成目標】 国文学・国語学の基礎的知見を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 国文学の文章および国文法に触れ、古典を「読む」訓練を積む。</p> <p>【授業計画】 [前期] 古典の入門として、『枕草子』を採り上げて、章段ごとに読みます。 ①導入 ②③文学史の流れを大掴みに把握する ④⑤辞書的意味と文脈上の意味について ⑥⑦古語辞典を調べる ⑧『枕草子』の書かれた時代背景について ⑨本文系統について ⑩～⑮日記的章段、随想的章段、類聚章段からそれぞれ採り上げて読む [後期] 古典文法を中心に、テキストの用例を具体的に検討しながら、品詞論的に詳述します。 ①いわゆる古典文法について ②～⑤諸動詞の活用について ⑥⑦ク・シク活用とナリ・タリ活用の形容(動)詞 ⑧古典の敬語法について ⑨⑩ヴォイスの助動詞 ⑪⑫テンス・アスペクトの助動詞 ⑬⑭ムードの助動詞 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 入学前に郵送により渡した「課題」を初回にご用意ください。 テキストは指定せず、資料をプリントで配布します。高校時代に国語科の授業で用いた『古語辞典』(相応の電子辞書も可)もしくは文法のサブテキスト(何でも良い)を用意してください。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 高校時代、古典にあまり触れて来なかった方を対象として行いたいと思います。作業中心に進めることが理解度に結びついたとの意見が寄せられたので、できるかぎりそのように計らいたく思います。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(100%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10170		国語学基礎演習二	4	高橋 永行	通年	
<p>【達成目標】 現代日本語表現に関する実践力、観察力の養成を目指します。国語教育の分野を含みます。</p> <p>【授業内容・方法】 ロールプレイを用いて演習をします。仮想世界の会話による表現にふれながら、ことばの働きに関して重要と考えられる言語学的トピックスを取り上げ、エクササイズを行います。具体的には、ちょっとおかしいんじゃないと感じられる（下手な）「会話例」を参照し（いくつかはCDの音声を聞きます）、どこがおかしいのか、どう直せばよいのかをみんなで検討してみましょう。演習形態はグループ編成学習です。3～4グループに分けます。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2 トレーニング例示 ①お知らせのメール ②お店で接客をする 3 前期 班別学習トレーニング テーマ別に担当チームを決めて、発表・質疑応答を展開しましょう。 4 後期 前期のトレーニングをもとにしてテーマに基づく学習報告書作りをします。</p> <p>【テキスト】 『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房</p> <p>【参考書】 『日本語表現・文型事典』朝倉書店、『日本語口語表現辞典』研究社</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 演習は、学生による学生のための時間です。教師役と学生役を受講生が交替しながら自分たちで運営していかなければなりません。出席し、参加することが一番大切なことです。</p> <p>【評価方法】 演習への参加度・質疑応答の参加度（100%） 筆記試験・個別レポートはありません。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10190	10191	国語表現法	4	高橋 永行	通年	
<p>【達成目標】 日本語音声学の入門講座です。音声表現に関して基礎知識の定着と実践力を養成します。</p> <p>【授業内容・方法】 LL教室で講義と実習、グループ学習を中心に行い、話す音と聞く音はどう違うのかを体験します。</p> <p>【授業計画】 前期 1 導入 2-5 聴覚音声学（聞くとは？）人の音声はどう聞こえるのか①外国語②方言③リズム（スタッカートと48G） 6-15 調音音声学（声とは？）人の音声はどう作られるのか①身体器官の仕組み②母音：口の観察③子音：細かい違いの聞き分け 後期 1-2 音声連続の特色（プロソディ） 3-8 音の感覚（アクセント・イントネーション・プロミネンス） 9-14 フレージング、群読 15 試験</p> <p>【テキスト】 本年度の国語学概論のテキスト『図解日本語』を利用します。またプリントを多数併用します。綴じるファイルを用意してください。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 教職（国語）必修科目として履修する場合は1年生で受講しましょう。また近い将来音声学の素養が必要になる人は受講が望ましいと思われます。音声に関する身近な例（CD、DVD、BD）を多く挙げます。歌手などの口の開き方を観察します。録音用カセットテープは受講生の負担です。</p> <p>【評価方法】 1年間座席指定。授業への参加度を重視 80%（グループ課題達成度 20%を含む）試験 20%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10190	10192	国語表現法	4	山本 淳	通年	
<p>【達成目標】 I 日本語の音声についての理解を深める。 II 自分の話し言葉をふり返りつつどのような音声的な特徴をもって話しているかを知る。</p> <p>【授業内容・方法】 標準日本語の音声・音韻・アクセント全般について、受講者による言語の内省を促しつつ講述する。また自分の音声にはどのような特徴があるのか、自分の話し言葉を入念に観察する。</p> <p>【授業計画】 01 導入 02 話し言葉と音声 03 音・音声 04 音声器官 05 発声と発音 06 日本語の母音 07 世界言語の中の日本語母音 08 子音の特徴 09 子音の分類(調音) 10 子音の分類(音声素性) 11 母音と子音(まとめ) 12 五十音図の音声学 13 有声と無声 14 有気と無気 15 子音の口蓋化 16 清音・濁音 17 連濁 18 ガ行音 19 四つがな 20 促音 21 音声学と音韻論 22 音素と異音 23 標準日本語の音節 24 日本語音韻史(上代・中古) 25 日本語音韻史(中世・近世) 26 アクセント 27 プロミネンスとインテンシティ 28 東部方言の音声・音韻・アクセント 29 西部・九州方言の音声・音韻・アクセント 30 まとめ</p> <p>【テキスト】 川上泰『日本語音声概説』(おうふう・1300円+税) 併せて授業時プリントを配布する。当該時間の欠席者にはレターケースに投函する。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 自分自身の発音をじっくり観察しながら体験的に学修できるように、なるべくその時間を確保して進めたいと思います。ただし、授業コード10191との重複履修はできませんので、ご注意ください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(50%)および単位レポート提出(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10210		国文学講読一	2	北野 達	前期	
<p>【達成目標】 万葉集の時代は、四期に分類されます。ここでは、一・二期を中心にして、日本の歌が成立していく過程を理解します。</p> <p>【授業内容・方法】 講義の形をとります。</p> <p>【授業計画】 1、万葉集とは何か 2、万葉集という歌集はどのような組立になっているか 3、万葉集の三代部立(雑歌・相聞・挽歌) 4～5、伝承歌の世界 6～9、初期万葉の世界(女歌の誕生) 10～14、第二期万葉の世界(宮廷歌人の誕生) 15、まとめ</p> <p>【テキスト】 鶴久編『万葉集』おうふう 定価2,800円</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 古典の歌というと、何か難しい、高尚なもののように思われるかもしれませんが。しかし、万葉集の歌は、当時の現代語でよまれた、当時の人は誰でも理解することができた、ウタなのです。ウタはウタッタからウタと言ったに違いありません。現在でも、私どもは、ウタを楽しみます。万葉の時代に、そうした感覚が無かったはずはないのです。そうした感覚を大事にしながらウタをよんでいきます。</p> <p>【評価方法】 試験(90%)、授業への参加度(10%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10220		国文学講読二	2	齋藤 奈美	前期	
<p>【達成目標】 1. 平安時代の物語文学を理解するための基礎的な知識を身につける。 2. 辞書などを使って調べ、読解する力を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 『源氏物語』の「桐壺」巻を講読します。和歌・語句・表現・引用などを解説し、物語を逐語的に解釈した上で、解釈上の問題点や、構想との関わりなどを考察します。</p> <p>【授業計画】 1. ①～②『源氏物語』概説（「成立と作者」－『紫式部日記』と『源氏物語』、「諸本」） 2. 「桐壺」巻講読 ③冒頭表現と時代設定 ④～⑤桐壺更衣の紹介と光源氏の誕生 ⑥～⑦更衣の苦悩と帝との別れ ⑧～⑨更衣の死―帝の悲嘆と「長恨歌」 ⑩～⑪高麗人の観相―『源氏物語』における予言 ⑫藤壺の入内 ⑬光源氏の元服と左大臣 ⑭光源氏、藤壺を恋慕 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 玉上琢彌訳注『源氏物語』第1巻（角川ソフィア文庫）税込価格 864 円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 桐壺」巻には、光源氏誕生までの経緯、類稀な美貌と才能・「帝王」の相を持ちながらの臣籍降下、義母藤壺への思慕など、『源氏物語』の長編的構想に関わる重大な出来事が多く描かれています。ドラマチックな物語展開、巧みな伏線、登場人物の心情描写など、豊かな表現世界に触れてみてください。毎回、各自の解釈や感想、疑問を書いてもらい講義に反映させる予定です。予習の上、出席して下さい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と提出物（30%）、学期末の筆記試験（70%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10230		国文学講読三	2	佐々木 紀一	前期	
<p>【達成目標】 『保元物語』を読み解き、その魅力を知ると共に、その成立について学びます。</p> <p>【授業内容・方法】 保元の乱にもとづいた本作品三巻は、歴史的事件に基づきながら、英雄為朝の活躍や源氏の遺児達の処刑場面に見られる様に、物語としての飛躍があります。授業では単に意味を取るのではなく、歴史資料（『愚管抄』・『兵範記』等）との比較、保元物語の諸本（内容が異なる本、半井本・鎌倉本・京岡本・竜門本・金刀比羅本、古活字本等）間の比較を通じて、立体的に物語を精読します。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2～3 保元の乱と時代的背景 4 『保元物語』諸本とその成立 5～15 本文読解</p> <p>【テキスト】 コピー配ります。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 さまざまな媒体で、源平合戦、あるいは保元の乱についてどこかで知ってゐる、キャラ萌えしてゐる貴女！『保元物語』がその根源ですぞ！ しかし歴史資料からする保元の乱の真相、『保元物語』諸本による事件展開、人物造型の相違等、今までとは異なる保元物語が起ち上がって来ると思ひます。 読まうと思へば三日で読める分量ぢやが、ねっつく読むぞ（`谷´；）</p> <p>【評価方法】 レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10240		国文学講読四	2	千葉 正昭	前期	
<p>【達成目標】 近世文学の意義について考えてもらう。元禄期以降の作家・作品を取り上げながら、その魅力と現代につながる意義の理解を深めていきたい。更に作品発生に関わる時代背景にも言及したい。</p> <p>【授業内容・方法】 講義が主だが、短い範囲の印刷物を各自読んで予習してくることが望ましい。授業の展開にゆとりが出てきた場合、印刷物に対して調べた事柄を発表してもらうかたちを考えている。</p> <p>【授業計画】 1、近世文学概説・そのⅠ 2、近世文学概説・そのⅡ 3、井原西鶴「好色一代男」 4、同「武家義理物語」と太宰治 5、近松門左衛門「曾根崎心中」 6、松尾芭蕉「笈の小文」 7、「文楽人形 曾根崎心中 ROCK」 8、上田秋成「雨月物語」 9、山東京伝「通言総籙」 10、洒落本「遊子方言」 11、恋川春町「金々先生栄花夢」 12、為永春水「春色梅児誉美」 13、十返舎一九「東海道中膝栗毛」 14、式亭三馬「浮世風呂」 15、成島柳北「柳橋新誌」＋レポート提出</p> <p>【テキスト】 印刷物の配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 興味を抱いて頂き、次いで江戸とは言え近代につながる価値観などが拾えれば幸いと考えている。現代に通じるものの考え方もあるので、じっくり検討できれば面白みも湧くものと判断している。</p> <p>【評価方法】 出席率・レポートなどの総合評価による。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10260		国文学講読六	2	北野 達	後期	
<p>【達成目標】 万葉集の時代は、四期に分類されます。ここでは、三・四期を中心にして、日本の歌が展開していく過程を理解します。</p> <p>【授業内容・方法】 講義の形をとります。</p> <p>【授業計画】 1、万葉集とは何か 2～3、一・二期万葉の概説 4～8、第三期万葉の世界(①宮廷歌人の後継者達 ②筑紫花壇の歌人達) 9～13、第四期万葉の世界(大伴家持歌日記と万葉集の終焉) 14、作者未詳歌の世界 15、まとめ</p> <p>【テキスト】 鶴久編『万葉集』おうふう 定価2,800円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 古典の歌というと、何か難しい、高尚なもののように思われるかもしれませんが、しかし、万葉集の歌は、当時の現代語でよまれた、当時の人は誰でも理解することができた、ウタなのです。ウタはウタッタからウタと言ったに違いありません。現在でも、私どもは、ウタを楽しみます。万葉の時代に、そうした感覚が無かったはずはないのです。そうした感覚を大事にしながらかうをよんでいきます。</p> <p>【評価方法】 試験(90%)、授業への参加度(10%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10270		国文学講読七	2	齋藤 奈美	後期	
<p>【達成目標】 1. 平安時代の物語文学を理解するための基礎的な知識を身につける。 2. 辞書などを使って調べ、読解する力を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 『源氏物語』の「末摘花」巻を講読します。和歌、語句、表現などを解説し、物語を逐語的に解釈した上で、解釈上の問題点や、構想との関わりなどを考察します。</p> <p>【授業計画】 1. ①～②『源氏物語』概説（「成立と作者」「『源氏物語』の構造」「並びの巻・帯木三帖」） 2. 「末摘花」巻講読 ③「末摘花」巻まで ③末摘花の琴 ④～⑤頭中将と姫君を争う ⑥～⑦末摘花と逢う ⑧「朱雀院の行幸」という設定 ⑨～⑩末摘花の容貌 ⑪末摘花と空蟬—『源氏物語』の醜女 ⑬装束と末摘花 ⑭末摘花と紫の上 ⑮まとめ—末摘花のその後</p> <p>【テキスト】 玉上琢彌訳注『源氏物語』第2巻（角川ソフィア文庫）本体価格 864 円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 「光源氏は故常陸宮の姫君に興味を持ち、琴の音を聴く。頭中将と争って、ついに逢うが、その対応は期待はずれ。ある日、姫君の醜い容貌を見て驚く」—執着の挙げ句、手に入れた姫君は類稀な醜女だった…「末摘花」巻は、まさに「滑稽失敗譚」です。「種明かし」までの巧みな物語展開を楽しんで下さい。毎回、解釈や感想を書いてもらい授業に反映させる予定です。予習の上、出席して下さい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と提出物（30%）、学期末の筆記試験（70%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10280		国文学講読八	2	佐々木 紀一	後期	
<p>【達成目標】 『平治物語』を読み解き、その魅力を知ると共に、その成立について学びます。</p> <p>【授業内容・方法】 平治の乱にもとづいた本作品三巻は、歴史的事件に基づきながら、藤原信頼、信西等の造型に見られる様に、物語としての飛躍があります。授業では単に意味を取るのでは無く、平治物語の諸本（内容が異なる本、陽明本・九条本、『平治物語絵詞』、金刀比等本）間の比較、他物語（『平家物語』・舞の本）との比較を通じて、立体的に物語を精読します。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2 平治の乱と時代的背景 3～4 平治物語の諸本と成立 5～15 本文読解</p> <p>【テキスト】 コピーを配ります。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 歴史資料が不足してゐる為、平治の乱の真相は不明な所が多いのです。また源氏の敗北と悲話の部分には、民間伝承の反映が予想され、『保元物語』とも異なります。 それでも謎の多い信西の自害、後白河院の脱出、源氏名刀伝説等、物語として興味深いです。 読まうと思へば三日で読める分量ぢやが、ねっつく読むぞ（`谷´；）</p> <p>【評価方法】 レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10290		国文学講読九	2	千葉 正昭	後期	
<p>【達成目標】 1. 日本近代における大正期文学の基礎的な事項を理解する。 2. 近代という観点から、それぞれの文学様式の特徴について理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 講義は組み込まれているが、各自の積極的な関わりを期待する。はじめ2回がガイダンスで、次いで報告者を決めて発表と質疑のやりとりを考えている。自由な意見を述べ合うことを願っている。</p> <p>【授業計画】 ①日本近代文学解説 ②大正文学の意味 ③田村俊子「女作者」④上司小剣「鱧の川」⑤佐藤春夫「西班牙犬の家」⑥里見淳「銀次郎の片腕」⑦有島武郎「小さき者へ」⑧久米正雄「虎」⑨芥川龍之介「奉教人の死」⑩宇野浩二「屋根裏の法学士」⑪岩野泡鳴「猫八」⑫菊池寛「入れ札」⑬葛西善蔵「椎の若葉」⑭葉山嘉樹「淫売婦」⑮総括+レポート提出</p> <p>【テキスト】 紅野敏郎ほか編『日本近代短編小説選大正編』岩波文庫 900円＋税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、報告者を決めて発表し、聴講者からの発言も加え、参加型の授業を目指す。現代と大正期の比較を考えると面白みも増すことと考えている。</p> <p>【評価方法】 期末レポート課題70%、授業への参加度30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10300		国文学講読十	2	千葉 正昭	後期	
<p>【達成目標】 1. 昭和文学の旗手と呼ばれる作家は幾人かいるが、ここでは太宰治の中期の世界を理解する。 2. 前期の著作集「晩年」や後期の代表作「人間失格」とは違う文学様式の特徴について、理解を深め、その構造の面白さを味わう。</p> <p>【授業内容・方法】 講義と銘打たれているが、各自の積極的な取り組みを期待する。はじめが説明で、次いで報告者を決めて発表と質疑のやりとりを考えている。自由な意見を述べ合うことの楽しさを体験してもらおう。</p> <p>【授業計画】 ①昭和文学の中の太宰 ②「HUMAN LOST」 ③「姥捨」 ④「黄金風景」 ⑤「畜犬談」 ⑥「おしゃれ童子」 ⑦「皮膚と心」 ⑧「鷗」 ⑨「善蔵を思う」 ⑩「きりぎりす」 ⑪「千代女」 ⑫「風の便り」 ⑬「水仙」 ⑭「日の出前」 ⑮ 中期作品群の総括+レポート提出</p> <p>【テキスト】 太宰治『きりぎりす』新潮文庫 (594円＋税) +印刷物</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、報告者を決めて発表し、聴講者からの発言も加え、参加型の授業を目指す。皆さんが考える太宰治像と中期の作品群検討後の違いがどのようなものか、担当教員として興味を持っている。</p> <p>【評価方法】 期末レポート、担当作品報告、授業中の発言の総合評価。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10410		国文学特講一	2	北野 達	後期	
<p>【達成目標】 古事記の神話をよみ、古代日本人の世界観を理解し、ひいては、現代の日本人がその何を引き継ぎ、失ったかを理解します。</p> <p>【授業内容・方法】 古事記神話を丹念によんでいきます。講義の形をとります。</p> <p>【授業計画】 1、神話とは何か。 2、神々の生成と誕生（命をうみだすもの） 3、黄泉国訪問（日本人の死生観） 4、三貴子誕生（泣く神の物語） 5、誓約神話（罪を負う神） 6、天の岩屋戸神話（死と再生） 7、根国訪問（国の主の誕生） 8、八千矛神（恋の歌物語） 9、天若日子の死（日本人の死生観2） 10、国譲り（言葉の力） 11、天孫降臨神話（祭りと神話） 12、石長比売と木花佐久夜比売（繁栄と寿命） 13、海幸・山幸（異郷の所在） 14、豊玉毘売（女の力） 15、まとめ</p> <p>【テキスト】 新版 古事記 現代語訳付き（角川ソフィア文庫） 定価 1,180 円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 日本神話論：日本の神話は、ほんとうに不幸な歴史を背負ってきました。戦前は、あたかも戦争の道具であるかのように扱われ、戦後は、あまりにも不当に排除されてきました。いずれにしる神話はゆがめられてきたのです。私どもは、何の先入観も持たずに神話を読んでみましょう。そうすれば、そこには、古代人の豊かな想像力を見出すことができるでしょう。その想像力は、やがて、優れた歌や物語を生んでいくのです。</p> <p>【評価方法】 試験（90%）、授業への参加度（10%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10420		国文学特講二	2	齋藤 奈美	前期	
<p>【達成目標】 1. 『伊勢物語』『歌物語』についての基礎的な知識を身につける。 2. 『伊勢物語』の読解を通して、多角的な解釈の方法を理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 『伊勢物語』について概説した後、本文を読解します。文脈に即して解釈するほか、『古今和歌集』の当該和歌・詞書と比較しての解釈も示す予定です。また、前後の章段・類似章段をまとめて読むことで見えてくる構成（構想）についても考察します。</p> <p>【授業計画】 1. 『伊勢物語』概説 ①～③（『伊勢物語』の時代と在原業平「書名と成立」「『伊勢物語』と『古今和歌集』」） 2. 『伊勢物語』講読 ④～⑤ 元服と死—『伊勢物語』の構成 ⑤～⑦二条后章段 ⑧～⑨東下り章段 ⑩陸奥章段 ⑪筒井筒・梓弓 ⑫～⑬狩使（斎宮）章段 ⑭～⑮ 惟喬親王章段 ⑯ 老いと死</p> <p>【テキスト】 石田穰二訳注『伊勢物語』（角川ソフィア文庫）税込価格 778 円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 『伊勢物語』は和歌とその和歌をめぐる物語からなる短い章段、百二十五段で構成されています。和歌の解釈、章段ごとの解釈、『伊勢物語』の中での解釈と、さまざまに読むことができるおもしろさを感じ取ってもらえればと思います。次回取り上げる章段を予告しますので、予習して授業に臨んで下さい。毎回、各自の解釈や感想、疑問を書いてもらい授業に反映させる予定です。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と提出物（30%）、学期末の筆記試験（70%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10430		国文学特講三	2	佐々木 紀一	前期	
<p>【達成目標】 中世に特徴的な刀剣伝承の概観、成立について、また中世文学、口承文芸との関係について学習します。</p> <p>【授業内容・方法】 中世文学の『平家物語』『太平記』には天皇家、源氏に伝はる宝剣、名刀についての説話を載せた『剣巻』が付属します。同様の名剣伝承は『曾我物語』や芸能にもあり、中世人の刀剣の呪力に対する信仰、関心が窺はれます。鍛冶の伝記、作風について記した中世の銘尽にも見える名剣伝承を参考にしながら、名剣伝承がどの様に形成され、中世文学と関連するか考察します。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2～3 『剣巻』の紹介 4～8 軍記の刀剣説話 9～10 芸能の刀剣説話 11～12 銘尽諸本 13～14 口承説話と刀剣説話 15 まとめ</p> <p>【テキスト】 コピー配ります</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 なんと現存最古の形態を残すと思はれる呆犬齋文庫本『鍛冶銘集』（明德本銘尽）は、中世英雄説話テンコ盛りです。未知の中世文学へお誘ひいたませう。</p> <p>【評価方法】 レポート（70%）、授業への参加度（30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10440		国文学特講四	2	梅津 保一	後期	
<p>【達成目標】 松尾芭蕉紀行文の最高峰「おくのほそ道」について、資料と解説により、芭蕉が体験的事実からどのようにして詩的幻想の世界を描き出していったか、その創作の秘密を探る。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 ①オリエンテーション ⑤⑥⑦ 『おくのほそ道』陸奥路 ②松尾芭蕉の生涯 ⑧⑨⑩⑪ 『おくのほそ道』出羽路 ③『おくのほそ道』の旅 ⑫⑬ 『おくのほそ道』越後路～大垣 ④『おくのほそ道』発端～白川の関 ⑭⑮ 『おくのほそ道』の旅以後の芭蕉など</p> <p>【テキスト】 角川書店編『おくのほそ道（全）』（角川ソフィア文庫）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 テキストを理解するための補助プリントを配布して、予習・復習に資したい。</p> <p>【評価方法】 講義の感想（毎回）、レポート「歩く見る聞く おくのほそ道」、テストの成績を総合的に評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10450		国文学特講五	2	馬場 重行	前期	
<p>【達成目標】 ①自明のことと思われがちな文学の「読み」の問題を改めて問い直します。 ②文学が教育に果たす役割や意味などについて、考察してみたいと思います。</p> <p>【授業内容・方法】 児童文学から現代小説まで、幅広い作品を素材に、小学校から高校に至る教育現場との関係を中心に、音楽、映像、漫画など、他のメディアと文学の関係を視野に入れつつ、文学教育の問題を講義形式で考えてみたいと思います。</p> <p>【授業計画】 Ⅰ 文学という表現手段の現代的な意味についての概説（1回） Ⅱ 文学の〈読み方／読まれ方〉という課題についての概説（1回） Ⅲ 個別の作品についての具体的な「読み」の実践（1～12回） Ⅳ 総括（1回）</p> <p>【テキスト】 プリント配布（対象とする作家は、村上春樹、あまんきみこ、安部公房などを予定）。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 短篇作品の「読み」を中心とした講義を予定しています。毎回、作品を読みますので、積極的に授業に参加して下さい。時には、意見を求める（レポート等）場合もあります。なるべく興味・関心を引くように、時事的話題を適宜取り入れて講義を進めていくつもりです。</p> <p>【評価方法】 授業への積極的な参加度（50%）、期末レポート課題（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10460		国文学特講六	2	千葉 正昭	後期	
<p>【達成目標】 1. 日本近代文学における代表的作家夏目漱石『門』の内容を理解する。 2. 明治期知識人の苦悩を読み取れるようになることを目指す。</p> <p>【授業内容・方法】 漱石『門』をテキストにして、順番制で読み込んできた内容を発表する。研究書や評論などを参考にすることは構わない。が登場人物の特殊性や作品自体が抱える特性などを、各自じっくり読んでくることが基本である。報告者と聴講者とのやりとりに期待したい。教員もコメントを付す。</p> <p>【授業計画】 1. 夏目漱石について 2. 「門」概説 3～14. 各回2章分ずつの報告 15. 総括報告＋レポート提出</p> <p>【テキスト】 新潮文庫 夏目漱石『門』400円＋税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 上記〈授業内容・方法〉でも記したが報告者と聴講者とのやりとりに期待する。ためらわずに考えてきたことを率直に述べることを願っている。思わぬ知的刺激を周りから受けることになると思う。参加しているという実感を得てもらうことが狙いのひとつでもある。</p> <p>【評価方法】 出席状況・授業中の発言・発表内容・レポートの総合評価。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10510		国語学講読一	2	山本 淳	前期	
<p>【達成目標】 I 江戸時代の語学書を読み、往時の人のものの見方を理解する。 II 日本語の音韻史について大きな流れを理解する。 III 原本の影印資料に触れ、連綿体の文字が解読できるように訓練する。</p> <p>【授業内容・方法】 三浦庚妥『音曲玉淵集』一卷を中心に採り上げて講読する。</p> <p>【授業計画】 ① 室町時代～江戸時代の音曲資料について ②『音曲玉淵集』について ③～⑦授業担当者による講読 ⑧～⑭受講生による講読 ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 プリントで対応</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 担当者による講読においては、トピックごとに整理して読むこととし、ついで受講生にも担当範囲を決めて読む練習をすることで、一方的な授業の進め方にならないように配慮したいと思います。資料じたいが難しい内容を含んでいるので、解読に力を注ぐ予定です。</p> <p>【評価方法】 前期試験期間中に行うペーパーテスト(70%)および担当範囲の解読状況(30%)による。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10520		国語学講読二	2	高橋 永行	前期	
<p>【達成目標】 現実生活で使われる方言(リアル方言)と創作物に現れる方言(ヴァーチャル方言)を対比的に学び、現代日本語のすがたを理解することを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】 現代方言についてヴィジュアル重視で学びます。方言は社会を映す鏡のような存在です。可視化した資料をもとに、ことばの仕組み、コミュニケーション、社会の変化から、ことばの地域差と日本の社会を考察します。</p> <p>【授業計画】 1. 導入 方言とは何か 2. 地図から見える地域差 ①区画 ②東西差 3. ③周圈的分布 4. 方言の調査と研究法 社会の変化から見える地域差 5. 共通語と標準語 6. 伝統方言の現在、中間方言と新方言 7. 方言から見える日本の社会 社会的位置づけの変遷 8. ヴァーチャル方言 ①海がきこえる(高知・東京) 9. ②新遠野物語(岩手) 10. ③私の青おに(山形) 11. ④砂の器(秋田・島根) 12. 方言意識 13. 方言コンプレックスの時代と今 14. 方言コスプレ 15. まとめと試験</p> <p>【テキスト】 木部暢子他『方言学入門』三省堂 ¥1,800+税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 身近にあるが気づきにくい存在の方言の「おもしろさ」や「新発見」があればよいと思います。自身のことばとよその出身地の友人のことばの違いに気づいて、自分の言葉を内省できるようにしましょう。映像をみることもあります。継続した出席が重要になります。受講に際しては、多色のマーカー、色鉛筆などを準備してください。また地理の理解が必要なので中学・高校で使っていた社会科の地図帳があれば便利です。</p> <p>【評価方法】 試験70%、授業への参加度30%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10530		国語学講読三	2	山本 淳	後期	
<p>【達成目標】 I 近世書状(私的文章)に使われる敬語について理解する。 II 原本の影印資料に触れ、連綿体の文字が解読できるように訓練する。</p> <p>【授業内容・方法】 藤井高尚『消息文例』上巻を採り上げ、下巻も一部取り交ぜながら講読する。</p> <p>【授業計画】 ①藤井高尚の事蹟と『消息文例』 ② 序文(本居宣長)・跋文(鳥越常成)・凡例を読む ③「文の心栄へ」「文の詞遣ひの心得」「音便の詞の事」 ④「古風の文」「今様の文」 ⑤「文におのが事を言ふ例」 ⑥「文にさきの人の事を言ひ遣る例」 ⑦「上書きの事」 ⑧「候ふ 侍る」 ⑨「思ひたまへ」 ⑩「申す 聞こゆ」 ⑪「せ させ」 ⑫「奉る」 ⑬「御」 ⑭「仕うまつる」「まゐらせ まゐる」 ⑮「御覽ず」「ものす」</p> <p>【テキスト】 和泉書院影印叢刊『消息文例』(本体価格2,000円+税)</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など) 受講生にも積極的にテキストを「読む」ことを課します。ただし文字判読にばかり意識が傾かないよう、内容についても整理しながら読み進めたいと思います。</p> <p>【評価方法】 後期試験期間中に行うペーパーテスト(100%)。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10540		国語学講読四	2	高橋 永行	後期	
<p>【達成目標】 辞書の成り立ちをとおして日本語の歴史の概要について学びます。</p> <p>【授業内容・方法】 平安時代から明治時代までの歴史を駆け足で旅します。言語史の基礎的素養を身につけましょう。</p> <p>【授業計画】 1 導入 国語史の時代区分と辞書史の時代区分 2 言語生活史(話す・聞く・読む・書く) 3 辞書の作り手と使い手 平安一鎌倉 4 音義書・篆隸万象名義 5 字鏡集 6 和名類聚抄といろは歌 7 類聚名義抄 8 辞書を写す 室町 9 下学集・節用集 10 キリシタン資料・洋学図書 11 日本語の時間軸 江戸 三大辞書 12 国学書・方言集 13 西洋との接触 近代国語辞書 14 大槻文彦・山田美妙・上田萬年 15 まとめ試験</p> <p>【テキスト】 『辞書からみた日本語の歴史』ちくまプリマー新書 ¥780+税 多数のプリントを併用します。ファイルを用意して各自綴じてください。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など) 言語生活の規範となる辞書がどのように生まれたのか、日本人の生活や文化との関わりから一緒に考えてみましょう。歴史分野の基礎知識の定着を目指します。多角的視野から講義するので、関心のある分野については自身で積極的に学びましょう。</p> <p>【評価方法】 試験80%、授業への参加度20%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10550		国語学特講	2	山本 淳	前期	
<p>【達成目標】 I 「国語学・日本語学」とはどのような領域の学問か、全体像を把握する。 II 前期開講「国語学概論」の内容を承け、日本語学の基礎的な知見をより確かなものにする。</p> <p>【授業内容・方法】 テキストおよび配付資料を基に講述する。テーマごとに簡単なペーパーテストを行い、受講生の理解度を確認しながら授業を進める。</p> <p>【授業計画】 ①日本語の音声・音韻 ②日本語の標準アクセント ③日本語の音韻史 ④日本語の文字 ⑤日本語の語彙(語種・意義分類) ⑥日本語の語彙(辞書の話) ⑦日本語の敬語とその歴史 ⑧日本語の文法学説 ⑨文論 ⑩品詞論 ⑪日本語の文法史 ⑫日本語の文章 ⑬日本語の文体 ⑭日本語の方言と標準語(方言概説) ⑮日本語の方言と標準語(方言分布)</p> <p>【テキスト】 和田利政・金田弘『国語要説』(大日本図書、1,300円+税) 必ず入手してください</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 編入学希望者で、編入学試験に日本語学関連の専門科目が課される方は受講してください。学年指定はありませんが、履修はぜひ2年次でお願いしたいと思います。各回に行う試験が理解の助けになったとの意見がありましたので、今年度もテーマごとに試験を行います。</p> <p>【評価方法】 毎時間に実施する小テストによる評価(100%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10560		日本語文書・表現 プログラム	2	田中 宣廣	集中 (9月)	
<p>【達成目標】 ①これから社会に出るために必要な文書の作成法や使用法 (主な該当回:[1]~[4]) ②《この授業の中心課題》パソコンを使った文章作成方法 (主な該当回:[5]~[7],[10]~[15]) ③話しことばによる書きことばへの拡張活用法やその実例 (主な該当回:[8]~[9])</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】 [1] 社会的「文書」作成能力~目的別コミュニケーションツール使用法 [9] 書きことばにおける話しことばからの拡張用法(2) [2] 「履歴書」作成法 [10] 社会人のコミュニケーション能力~人に分らせる文章構成法 [3] 就職志望動機文・エントリーシート, 編入学志望理由文の構成法 [11] パソコン作成の文書での図表の作成と効果的提示法 [4] 「手紙」の書き方と発送, 「Eメール」の構成法と送信 [12] パソコン作成の文書のファイル管理やバックアップの重要性 [5] パソコンによる論文やレポートの作成学習の意義 [13] 入門的学術論文の構成 [6] 文書作成における, パソコン利用のメリットとその活用法 [14] パソコンで論文やレポートを作成するときの基本操作 [7] 文章の階層構造とその表示法 [15] 論文やレポートにおける注釈の効果的使用法~まとめ [8] 書きことばにおける話しことばからの拡張用法(1)</p> <p>【テキスト】 荻野綱男・田野村忠温編, 田中宣廣他著(2011)『講座ITと日本語研究[1] コンピュータ利用の基礎知識』(明治書院) ISBN: 9784625434389 定価: ¥2,592-。(本体¥2,400-+税)。 その他, 教員作成資料を使用します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 毎時限ごとに, 「レポートシート」に記入して提出していただき, 出欠や理解度を確認します。</p> <p>【評価方法】 「レポートシート」の記入内容と学習姿勢(出席, 他)によります。試験やレポートは課しません。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
10600		漢文学概説	2	渡部 東一郎	前期																
<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を訓読によって解釈するために必要な基礎知識を身に付ける。 ・漢文学が日本語や日本人に与えた影響について知見を深める。 <p>【授業内容・方法】</p> <p>10 回目までは、漢文を訓読によって解釈するために必要な基礎事項を学んだ上で、練習問題に取り組んでもらい、基礎知識の定着を図ります。11 回目以降は、日本における漢文学の歴史を概観し、漢文学が日本語や日本人に与えた影響について考えていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>6. 句法の基本型(1)</td> <td>11. 日本人と漢文学(1):上代、平安①</td> </tr> <tr> <td>2. 漢文の定義</td> <td>7. 句法の基本型(2)</td> <td>12. 日本人と漢文学(2):平安②、鎌倉・室町</td> </tr> <tr> <td>3. 漢字の基礎知識</td> <td>8. 句法の基本型(3)</td> <td>13. 日本人と漢文学(3):江戸前期</td> </tr> <tr> <td>4. 漢語(熟語)の基礎知識</td> <td>9. 句法の基本型(4)</td> <td>14. 日本人と漢文学(4):江戸後期、明治以降</td> </tr> <tr> <td>5. 漢文の基本構造と訓読法</td> <td>10. 近体詩の修辞法</td> <td>15. まとめ</td> </tr> </table> <p>【テキスト】</p> <p>特に用いず、必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</p> <p>高校での既習・未習を問わず、この機会に漢文学の基礎をしっかりと身に付けたいと考える学生の積極的な受講を期待します。</p> <p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験(80%)、授業への参加度(20%)をあわせて評価します。</p>							1. ガイダンス	6. 句法の基本型(1)	11. 日本人と漢文学(1):上代、平安①	2. 漢文の定義	7. 句法の基本型(2)	12. 日本人と漢文学(2):平安②、鎌倉・室町	3. 漢字の基礎知識	8. 句法の基本型(3)	13. 日本人と漢文学(3):江戸前期	4. 漢語(熟語)の基礎知識	9. 句法の基本型(4)	14. 日本人と漢文学(4):江戸後期、明治以降	5. 漢文の基本構造と訓読法	10. 近体詩の修辞法	15. まとめ
1. ガイダンス	6. 句法の基本型(1)	11. 日本人と漢文学(1):上代、平安①																			
2. 漢文の定義	7. 句法の基本型(2)	12. 日本人と漢文学(2):平安②、鎌倉・室町																			
3. 漢字の基礎知識	8. 句法の基本型(3)	13. 日本人と漢文学(3):江戸前期																			
4. 漢語(熟語)の基礎知識	9. 句法の基本型(4)	14. 日本人と漢文学(4):江戸後期、明治以降																			
5. 漢文の基本構造と訓読法	10. 近体詩の修辞法	15. まとめ																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10610		漢文学講読一	2	渡部 東一郎	前期	
<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点(返り点・送りがな)付きの漢文の正確な書き下し、解釈ができるようになる。 ・司馬遷の歴史描写の特色と中国古代の社会や文化について理解を深める。 <p>【授業内容・方法】</p> <p>司馬遷『史記』の中から刺客列伝を取り上げ、訓点付きのテキストをつかって読解していきます。授業は、予習の段階で準備してもらった書き下し文と日本語訳を受講者に発表してもらい、それを全員で議論する形で進める予定です。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ～14. 『史記』刺客列伝講読 15. まとめ <p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】</p> <p>中型漢和辞典(相応の電子辞書も可)を毎回持参して下さい。分からない語句などは必ず辞書で調べ、原文に対する自分なりの解釈を準備した上で受講することが大切です。</p> <p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験(60%)、授業での発表や議論への参加度(40%)をあわせて評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10620		漢文学講読二	2	渡部 東一郎	後期	
<p>【達成目標】 ・近体詩の修辞法を理解するとともに、漢詩を訓読によって読み下し解釈する方法に習熟する。 ・時代による作風の相違や作者それぞれの作風の特色について理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 『唐詩三百首』から、初唐の沈佺期・陳子昂、盛唐の李白・杜甫・王維・岑参、中唐の白居易・元稹、晩唐の温庭筠・李商隠・杜牧といった詩人たちの幾首かの作品を取り上げ、鑑賞していきます。授業は、あらかじめ担当を割り当て、担当の作品の読み下し・語釈・通釈等を発表してもらい、それを全員で議論する形で進める予定です。</p> <p>【授業計画】 1. ガイダンス 2. ～14. 『唐詩三百首』選読 15. まとめ</p> <p>【テキスト】 プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 中型漢和辞典（相応の電子辞書も可）を毎回持参して下さい。発表担当者以外も、分からない語句などは必ず辞書で調べ、原文に対する自分なりの解釈を準備した上で受講することが大切です。</p> <p>【評価方法】 授業での発表内容(60%)と議論への参加度(40%)で評価します。試験・レポートは課しません。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放															
10650		漢文学特講	2	渡部 東一郎	後期																
<p>【達成目標】 諸子百家の多様な思想を知ることを通して、当時の社会や文化についての理解を深めるとともに、複眼的なものの見方、自ら思考する力を身に付ける。</p> <p>【授業内容・方法】 先秦時代の思想史について、近年、発見が相次ぎ、従来の思想史を書き換えつつある新出土文献にも目配りしつつ概観していきます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>6. 名家の思想</td> <td>11. 新出土文献②</td> </tr> <tr> <td>2. 春秋・戦国期の社会</td> <td>7. 老子の思想</td> <td>12. 荀子の思想</td> </tr> <tr> <td>3. 孔子の思想</td> <td>8. 荘子の思想</td> <td>13. 韓非の思想</td> </tr> <tr> <td>4. 墨子の思想</td> <td>9. 陰陽家の思想</td> <td>14. 雑家の思想</td> </tr> <tr> <td>5. 孟子の思想</td> <td>10. 新出土文献①</td> <td>15. まとめ</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 特に用いず、毎回プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 資料の説明にあたっては、なるべく丁寧かつポイントを絞った解説を心掛けますが、受講生の理解度の把握と出欠確認のため、毎時限の終わりに講義内容と質問・感想などを「ミニットペーパー(コメントペーパー)」に記入の上、提出してもらいます。</p> <p>【評価方法】 学期末のレポート(80%)、授業への参加度(20%)をあわせて評価します。</p>							1. ガイダンス	6. 名家の思想	11. 新出土文献②	2. 春秋・戦国期の社会	7. 老子の思想	12. 荀子の思想	3. 孔子の思想	8. 荘子の思想	13. 韓非の思想	4. 墨子の思想	9. 陰陽家の思想	14. 雑家の思想	5. 孟子の思想	10. 新出土文献①	15. まとめ
1. ガイダンス	6. 名家の思想	11. 新出土文献②																			
2. 春秋・戦国期の社会	7. 老子の思想	12. 荀子の思想																			
3. 孔子の思想	8. 荘子の思想	13. 韓非の思想																			
4. 墨子の思想	9. 陰陽家の思想	14. 雑家の思想																			
5. 孟子の思想	10. 新出土文献①	15. まとめ																			

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10710		国文学演習一	4	北野 達	通年	
<p>【達成目標】 古事記を通して、発表の仕方、資料収集・整理の仕方、論理的な考え方を身につけます。</p> <p>【授業内容・方法】 受講生に発表していただきます。</p> <p>【授業計画】 1、古事記とは何か（概説） 2、発表の仕方 3～14、個別発表 15、まとめ</p> <p>【テキスト】 特に指定しません</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ある映画を見たとき、Aさんはつまらなかったといい、Bさんはとても面白かったという、このようなことは日常茶飯事のことです。ところで、AさんとBさんは何故この映画の受け取り方が違ったのでしょうか。おそらく、二人のこれまでの生き方や人生観などが大きく影響しているのでしょう。しかし、Aさんの視点から見るとつまらなかった作品が、Bさんの視点から見ると生き生きとしてくるかもしれません。どこに視点を置くかで、作品は様々な相を見せてくれます。</p> <p>【評価方法】 試験（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10730		国文学演習三	4	佐々木 紀一	通年	
<p>【達成目標】 中世の代表的物語『酒天童子』・『伊吹童子』の内容を読み解き、その成立の諸問題を考察します。</p> <p>【授業内容・方法】 前半生『伊吹童子』、後半生と源頼光による退治『酒天童子』を前期・後期で通読、宛てられた箇所を各自読解し、諸問題を考へる発表をします。</p> <p>【授業計画】 1 導入 2～4 酒天童子諸本、関連物語・伝説について 5～16 伊吹童子発表 17～30 酒天童子発表</p> <p>【テキスト】 大英図書館蔵『伊吹童子』・渋川版『酒天童子』</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 中世以降、最近まで源頼光の酒天童子は、子供達や大人にとっても血肉沸き踊る物語でした。その伝統が途絶してある現在、改めてこの物語の内容に触れ、楽しむと共に、実に様々な中世物語や鬼退治の民間伝承成立の問題に触れます。 呆犬齋文庫蔵の各種『酒天童子』資料をお見せいたします。</p> <p>【評価方法】 演習への参加度、発表（100%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10740		国文学演習四	4	千葉 正昭	通年	
<p>【達成目標】 1. 作品が抱える文学様式を、しっかり読み取ることを目指す。 2. 自分の解釈と、他人の読み方の違いを確認し、そこで議論が新しい次元に展開することを目指す。</p> <p>【授業内容・方法】 耽美派の研究という命題を抱えて前期永井荷風、後期谷崎潤一郎の作品を解釈する。報告者を決めて、毎回発表と質疑を重ねる。</p> <p>【授業計画】 ①永井荷風概説 ②「深川の唄」 ③「すみだ川」その1 ④同その2 ⑤同その3 ⑥新橋夜話「掛取り」⑦同「色男」 ⑧同「風邪ごこち」 ⑨同「名花」 ⑩「雨蕭蕭」その1 ⑪同その2 ⑫「おかめ笹」 ⑬「狐」 ⑭「雪解」 ⑮総括・レポート ⑯谷崎潤一郎概説 ⑰「少年」その1 ⑱同その2 ⑲「幫間」 ⑳「悪魔」その1 ㉑同その2 ㉒「瓢風」その1 ㉓同その2 ㉔「恐怖」その1 ㉕同その2 ㉖「陰翳礼賛」㉗「蘿洞先生」その1 ㉘同その2 ㉙同その3 ㉚「赤い屋根」 ㉛総括+レポート</p> <p>【テキスト】 永井荷風作「すみだ川・新橋夜話」岩波文庫 760円+税/前期 千葉俊二編「潤一郎ラビリンスI」中公文庫 838円+税/後期 その他の印刷物</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 毎回、発言をして頂き、参加型の授業を目指す。自ら問題点を確認して授業に参加して欲しい。</p> <p>【評価方法】 期末レポート課題70%、授業への参加度30%。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10741		国文学演習五	4	馬場 重行	通年	
<p>【達成目標】 ①自分の「読み」にはられた課題を自己発見し、他にそれを伝えるような工夫をします。 ②相互の意見交換を通じて、自分と他の人との「読み」の位相を確認し、そこを基点として議論の展開を目指します。 ③レポートを書くことで自らの「読み」を再確認します。 以上を通して、「読み」による創造的な自己発見と他者理解を手に入れ、自身の課題探求能力を高めることを目指します。</p> <p>【授業内容・方法】 村上春樹の短編小説を用いて、「読み」の意義を、特に「語り」の問題を中心に考えます。</p> <p>【授業計画】 I 作家についての概説(1回) III 個別報告(グループ、または、個人ごとの担当を決め、報告と質疑応答を行います)(27回) II 「読むこと」について概説(1回) IV 総括(1回)</p> <p>【テキスト】 『パン屋再襲撃』(村上春樹著、文春文庫)『レキシントンの幽霊』(村上春樹著 文春文庫)、『神の子どもたちはみな踊る』(村上春樹著 新潮文庫) 参考書：『増補版・村上春樹作品研究事典』(村上春樹研究会編 鼎書房)他。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ①毎回、必ず当該作品を読んできてくること。②質疑応答に積極的に加わること。③他の人との「読み」の相違を大切に、「読み」の方法を習得すること。昨年まで以上に、発言の交流に工夫を凝らす予定です。「立派な発言」や「正しい答え」は求めません。「一生懸命に読んで、真剣に発言している」姿勢をこれまで以上に大切にします。</p> <p>【評価方法】 授業への積極的な参加度60%、期末レポート課題40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10750		国語学演習一	4	山本 淳	通年	
<p>【達成目標】 I いわゆる戯作文学についての理解を深めながら読み進める。 II 江戸時代の板本の様式に馴れつつ、連綿体の文字が解読できるように訓練する。</p> <p>【授業内容・方法】 十返舎一九『奥州道中之記』前後編を採り上げ、板本影印資料で読み進める。また、本作品の祖型となった、感和亭鬼武『旧観帖』とも比較・検討する。</p> <p>【授業計画】 01 幕末期戯作について 02 十返舎一九と感和亭鬼武 03～09 授業担当者による講読 10～19 受講生による輪読および発表(1巡め) 20～29 受講生による輪読および発表(2巡め) 30 まとめ</p> <p>【テキスト】 原文をコピーします</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 各回の発表が励みになったとの意見がありましたので、今年も受講生の発表を中心にして進めます。卒業研究の指導も併せて行います。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(50%)および発表の成果(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10760		国語学演習二	4	高橋 永行	通年	
<p>【達成目標】 ことばに関するテーマを選定し、グループや全体での共同作業を通して言語研究の方法を実践的に学びます。</p> <p>【授業内容・方法】 演習生をチーム分けし、チームごとおよび全体での討論・作業を体験してことばの研究の基礎を身につけます。言語研究に関する一つの成果を、一冊の報告書にまとめて刊行します。</p> <p>【授業計画】 演習開始時に指示します。 前期：チーム別の企画討論とプレゼンテーション。 後期：報告書作成に向けて、印刷所への入稿スケジュールにあわせて執筆、編集、討論の繰り返し。</p> <p>【テキスト】 前年度に刊行した報告書、『現代の日本語研究』2015を配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 「新聞と教育」プロジェクトNIEの一環として演習を実施します。毎年、参加者の話し合いで個別テーマを決め、演習成果報告書を作成します。1年間の演習での研究が「形になる」喜びを先輩たちは体験しました。1月に仕上げるために年内に完成原稿を作ります。できたものを手にした「達成感」と「もったいなくすれば…という反省」が必ずあります。その両方とも貴重な「学生」時代の宝です。スケジュールは個人個人で違います。同じチームの仲間とお互いのスケジュールを調整し、また助け合って研究を進めるように心がけましょう。</p> <p>【評価方法】 演習への参加度、課題の作成内容・チームへの貢献度(100%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10780		文献学演習	4	新藤 透	通年	
<p>【達成目標】 図書館を取り巻く状況は近年急速に変化しつつある。したがって、司書は単なる図書の出納係ではなく、今後の図書館界、あるいは情報メディア全般に関して関心を持って積極的に日々勉強していかなければならない。本演習では情報メディアの基礎的な研究手法を身につけさせることを目的とする。</p> <p>【授業内容・方法】 前期は現在の図書館界を賑わせているトピックを一つ選び、それについてグループ発表を行う。 後期は卒業論文中間報告の個人発表を行う。</p> <p>【授業計画】 1 前期オリエンテーション 2～6 図書館に関する論文購読 7～15 グループ発表 16 後期オリエンテーション 17～20 論文の書き方・研究の進め方 21～30 卒業論文中間報告（個人）</p> <p>【テキスト】 プリント配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 <u>受講生全員が卒業論文提出を目標とする。</u> 卒論は、図書館に関するもの、情報メディアに関するものどちらでも良い。また、夏期に希望者のみで国立国会図書館等を見学する見学会を行う。</p> <p>【評価方法】 演習態度(70%)、授業への参加度(30%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10790		教育文化論演習	4	村瀬 桃子	通年	
<p>【達成目標】 教育に関して、まず基本事項をおさえた上で、各個人の興味関心に添いつつ、様々な角度から教育問題を考察できるようにしたい。</p> <p>【授業内容・方法】 前期は、教育に関する基本事項をおさえるため、全員で基本文献を読み解いていく。後期は、それぞれの興味関心に添った文献等を読み進めていく予定である。</p> <p>【授業計画】 前期 ① オリエンテーション ② 教育学関連基本文献の選定と分担 ③レジュメの書き方 ④～⑮ 文献の講読と発表 後期 ① オリエンテーション ② レポート・論文の書き方 ③～⑥ 研究テーマ発表 ⑦～⑮ 個人研究発表 発表は、基本的に個人で、前期は共通文献を、後期は個人発表（卒論希望者は卒論の発表）をする予定である。</p> <p>【テキスト】 授業内に皆で文献候補を検討、決定した文献。絶版の場合はコピー。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ゼミは学生による自治が基本です。自ら課題を見つけ、学ぶ能力をつけた人を評価します。</p> <p>【評価方法】 発表の完成度（課題設定や分析は適切か等、70%）、演習への参加度（演習中の質問等の発言 30%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10810		書道一	4	我彦 芳柳	通年	教養
<p>【達成目標】 書写能力をさらに高めると共に、書の表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を養い、芸術としての書を理解し、創作へと導いていく。</p> <p>【授業内容・方法】 実技を知友新として、様々な文字の書写と鑑賞。 更に作品創作。</p> <p>【授業計画】 1. 基礎的な能力を身につける①～④ 2. さまざまな書を知る⑤～⑧ 3. 楷・行書の古典を学ぶ⑨～⑮ 4. 篆刻で自分の印を作る⑯～⑲ 5. 校内作品展示作品作り⑳～㉕ 6. 漢字仮名交じりの書の創作㉖～㉿</p> <p>【テキスト】 必要に応じてプリント配布。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 1. 実技を中心とする積み上げ学習なので、講義を欠席しないこと。 2. 書道用具・用材が必要（さわらび利用のこと）。 3. 修了作品製作をして学内展示する。費用として約 2,500 円位必要。</p> <p>【評価方法】 1. 作品の評価 2. 授業への参加度 3. 修了作品の製作</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10820		書道二	4	我彦 芳柳	通年	教養
<p>【達成目標】 書道一で学習した基本、特に漢字分野における知識を復習しながら仮名の美の世界にいざなう。連綿、墨の潤濁、散らし書きを臨書を通して学ぶ。</p> <p>【授業内容・方法】 書道一の復習と、仮名の古典の臨書を中心に作品の創作。</p> <p>【授業計画】 1. 漢字の歴史をふりかえる①～④ 2. 仮名の基本の学習⑤～⑮ 3. 仮名古典の臨書の学習⑯～㉕ 4. 仮名による創作㉖～㉿</p> <p>【テキスト】 必要に応じてプリント配布。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 1. 日本独特の美の世界を仮名の学習によってより深めてみませんか。 2. 仮名による作品製作をして学内展示します。費用として約 2,500 円位必要。</p> <p>【評価方法】 1. 作品の評価 2. 授業への参加度 3. 修了作品の製作</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10910		伝統文化論	2	齋藤 奈美	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 平安時代の住環境や行事、風俗、習慣を通して日本の伝統文化の基礎を理解する。 2. 平安文学の背景にある、貴族社会の生活や文化を理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 授業時配布のプリントと池田亀鑑著『平安朝の生活と文学』をテキストにして解説します。絵図や写真、ビデオをみたり、その事項と関わる文学作品の場面を紹介したりする予定です。</p> <p>【授業計画】 ①～④ 平安時代の住環境 ／「住居から『源氏物語』を読む」 文学作品の中の室礼・調度 ④～⑥ 平安時代の年中行事 ⑦～⑧ 平安時代の通過儀礼 ⑨～⑩ 平安時代の結婚の制度と風習 ／『蜻蛉日記』の結婚 ⑪～⑫ 平安時代の服飾と容姿美 ／『源氏物語』の女性描写 ⑬～⑮ 平安時代の娯楽と教養、信仰</p> <p>【テキスト】 池田亀鑑『平安朝の生活と文学』（ちくま学芸文庫）本体価格 1000 円</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 古典文学や資料を読解するために、平安時代の貴族社会の生活や文化、習俗の知識は、必須であるといえるでしょう。また、千年の時を経て現代の生活の中に残っているもの、形を変えて伝わっているものを知ることも有意義であると思います。随時、みなさんの感想や疑問、意見を取り入れて授業を進める予定です。積極的に参加して下さい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と提出物（30%）、学期末の筆記試験（70%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10920		有職故実	2	鈴木 眞弓	集中 (9月)	教養
<p>【達成目標】 有職故実は、かつて公家や武家を実習してきた儀式や行事のありようを追求する学問である。この、有職故実を理解することなしに、公武にかかわる文学や歴史を理解することはできない。本講義では、様々な儀式・行事に伴う、日本の伝統的な装束の実物（男子の束帯・女子の十二単等）を示し、古典に現れる装束を明らかにし、日本人の美意識にせまってみたい。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 プリントを配布。 (参考書) 有職故実日本の図典—服装と故実—(鈴木敬三:吉川弘文館)</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 装束を着装することから、時代意識を身を持って体感して下さい。</p> <p>【評価方法】 レポート</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
10930		民俗学概説	2	岩鼻 通明	前期																	
<p>【達成目標】 この講義では、日本の山岳信仰をテーマとして取り上げる。まず、民俗学とは、どのような学問であるかを論じた上で、日本の山岳信仰に関する諸問題について、具体的事例を紹介しながら講義を進める。講義に際してはビデオ教材を活用する。</p> <p>【授業内容・方法】 日本民俗学で扱う内容のうち、本講義では宗教および信仰に関わる民俗、その中でも日本に特有といえる山岳信仰について講義を展開する。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 民俗学とは</td> <td>2 民俗学の歩み</td> <td>3 山岳信仰の歴史</td> <td>4 山岳信仰と修行</td> </tr> <tr> <td>5 山岳信仰と女性</td> <td>6 立山の山岳信仰</td> <td>7 比叡山の山岳信仰</td> <td>8 石鎚山の山岳信仰</td> </tr> <tr> <td>9 英彦山の山岳信仰</td> <td>10 羽黒山の山岳信仰</td> <td>11 月山の山岳信仰</td> <td>12 湯殿山の山岳信仰</td> </tr> <tr> <td>13 山岳信仰と女性</td> <td>14 山岳信仰と食文化</td> <td>15 まとめ</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 特に使用しないが、付属図書館に所蔵されている民俗学関係の図書を参照してほしい。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 自己の故郷の年中行事や祭礼などに関心を持ってほしい。基本的な文献としては、文庫本で出ている、柳田国男『遠野物語』や宮本常一『忘れられた日本人』などがあげられる。 板書は、なるべく整然と見やすい大きな文字で書くことにしたい。</p> <p>【評価方法】 講義内容に関連した課題についての文献およびネット検索をふまえたレポート（出典は必ず明示すること）を学期末に提出することで、成績を評価する。</p>							1 民俗学とは	2 民俗学の歩み	3 山岳信仰の歴史	4 山岳信仰と修行	5 山岳信仰と女性	6 立山の山岳信仰	7 比叡山の山岳信仰	8 石鎚山の山岳信仰	9 英彦山の山岳信仰	10 羽黒山の山岳信仰	11 月山の山岳信仰	12 湯殿山の山岳信仰	13 山岳信仰と女性	14 山岳信仰と食文化	15 まとめ	
1 民俗学とは	2 民俗学の歩み	3 山岳信仰の歴史	4 山岳信仰と修行																			
5 山岳信仰と女性	6 立山の山岳信仰	7 比叡山の山岳信仰	8 石鎚山の山岳信仰																			
9 英彦山の山岳信仰	10 羽黒山の山岳信仰	11 月山の山岳信仰	12 湯殿山の山岳信仰																			
13 山岳信仰と女性	14 山岳信仰と食文化	15 まとめ																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																					
10940		書誌学	2	新藤 透	前期	教養																					
<p>【達成目標】 図書館司書として、または一般教養として日本書誌学と図書館史の基礎知識を身につけて貰うことを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 本講義では、図書・図書館の歴史と図書館情報資源としての和本の活用について学習し、受講生に前近代資料に関心を持たせることを目標とする。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>8. 近代日本の図書と図書館</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>2. 西洋古代・中世の図書と図書館</td> <td>9. 和本の構造①大きさと装丁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 市民革命と図書館</td> <td>10. 和本の構造②表紙と外題・内題、前付と後付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. アメリカの図書館の歴史</td> <td>11. 和本の構造③本文（ほんもん）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 古代日本の図書と書館</td> <td>12. 和本の構造④刊記と奥書、書入・蔵書印</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 日本近世の図書と出版</td> <td>13. 国文学研究と書誌学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 日本近世の「図書館」</td> <td>14. 日本史学研究と書誌学</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリント配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 江戸期の和本を実際に触って貰います。破かないように気をつけましょう。</p> <p>【評価方法】 レポート(70%)、授業への参加度(30%)</p>							1. オリエンテーション	8. 近代日本の図書と図書館	15. まとめ	2. 西洋古代・中世の図書と図書館	9. 和本の構造①大きさと装丁		3. 市民革命と図書館	10. 和本の構造②表紙と外題・内題、前付と後付		4. アメリカの図書館の歴史	11. 和本の構造③本文（ほんもん）		5. 古代日本の図書と書館	12. 和本の構造④刊記と奥書、書入・蔵書印		6. 日本近世の図書と出版	13. 国文学研究と書誌学		7. 日本近世の「図書館」	14. 日本史学研究と書誌学	
1. オリエンテーション	8. 近代日本の図書と図書館	15. まとめ																									
2. 西洋古代・中世の図書と図書館	9. 和本の構造①大きさと装丁																										
3. 市民革命と図書館	10. 和本の構造②表紙と外題・内題、前付と後付																										
4. アメリカの図書館の歴史	11. 和本の構造③本文（ほんもん）																										
5. 古代日本の図書と書館	12. 和本の構造④刊記と奥書、書入・蔵書印																										
6. 日本近世の図書と出版	13. 国文学研究と書誌学																										
7. 日本近世の「図書館」	14. 日本史学研究と書誌学																										

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10950		山形の文学	2	梅津 保一	後期	教養

【達成目標】

山形文学の分野は、小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、児童文学、童謡と多岐にわたる。山形の文学は、豊かな自然、風土、歴史と切り離しては考えられない。資料と解説により、山形県の自然、風土、歴史への関心と理解を深め、豊かな創造力を育む。

【授業内容・方法】

【授業計画】

- ① 講義のねらい、山形の文学風土
- ②③④⑤⑥⑦ 古典にみる出羽（歌枕、『義経紀』、『おくのほそ道』、『日本永代蔵』）
- ⑧⑨ 写真家土門拳、イザベラ・バードなど。
- ⑩⑪⑫⑬ 最上川と文学（正岡子規、阿部次郎、齋藤茂吉など）
- ⑭⑮ 詩（吉野弘、アカツカトヨコ、真壁仁）

【テキスト】

『やまがた文学の世界』（プリント）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

受講生の興味を引くような題材をとりあげながら講義をすすめたい。

【評価方法】

講義の感想メモ（毎回）、レポート「歩く、見る、聞く 山形の文学」、読書感想文の成績を総合的に評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10960		東洋思想	2	小野 卓也	前期	教養

【達成目標】

日本は昔から、インドや中国の文化を積極的に取り入れてきました。その結果、私たちの習慣やものの考え方の背景には、知らず知らずのうちにこうした国々の影響が多く残されています。

この授業では、私たちの日常生活にひそむインドや中国からの影響を学び、その発想や捉え方の違いを、日本と比較して見ていきます。

【授業内容・方法】

【授業計画】

- ① 日本語の中のインドの言葉
- ② 七福神の成り立ち
- ③ カレーライスの歴史
- ④ 無常について
- ⑤ 苦と解脱
- ⑥ 善悪の基準
- ⑦ 業と来世
- ⑧ 先祖と神仏
- ⑨ 愛と慈悲
- ⑩ 心とは何か
- ⑪ 身分と差別
- ⑫ 議論と論理
- ⑬ 仏教と女性
- ⑭ 家族のあり方
- ⑮ 恋愛と結婚

【テキスト】

プリントを配布しますので、穴をあけて綴じられる A4 ファイルを用意してください。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

みんなが知っているのに、その由来を知らないこと、今の私たちには信じられないようなものの考え方に触れることで、当たり前だと思っていたことを 1 度見直してみましょう。そうすれば新しいアイデアが浮かんでくるかもしれません。

【評価方法】

毎回、授業の終わりに感想・質問を書いてもらい、これを出席点とします。そのほかにレポートを 2 回書いてもらい、出席点（80%）、レポート（20%）で成績を評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
10970		現代社会と教育問題	2	村瀬 桃子	後期	教養

【達成目標】

1. 現代における子ども・若者の問題や、教育問題について知る。
2. 2回の発表を通して、各自の興味のある問題について深く考え、自分の意見を伝える。

【授業内容・方法】

ドキュメンタリー番組等を見ることで、現代の教育問題についてまず現状を知る。さらに興味関心のあるテーマを調べ、パワーポイントを用い2回発表することで、自分の考えを深める。

【授業計画】

- ① オリエンテーション、 ② 貧困問題と教育、 ③ 奨学金の問題、 ④ 若者の就職難の問題、
 ⑤ 障がいをもつ子どもたちの就労問題、 ⑥ 発達障がいの子どもたち、 ⑦ ~ ⑨ 個人発表 (新聞記事から気になる話題を発表)、 ⑩ 罪を犯した少年たち、 ⑪ 児童虐待の問題、 ⑫ 幼児期の子ども、 ⑬ いじめの問題、 ⑭ ~ ⑮ グループ発表 (テーマ自由)

【テキスト】

テキストは使用しない。参考文献等は、その都度紹介する。

【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】

できるだけ新しい動きを取り上げたい。授業は考える「きっかけ」。現代の様々な教育問題に対する解決法に明確な「正解」はおそらくない。だからこそ各自で考え、発信できるようにしたい。

【評価方法】

毎回の感想 (=出席 20%) と発表内容 (2 回分 50%)、レポート (30%) で評価する。